



公益財団法人 日本体育協会公認  
茨城県スポーツ指導者協議会

# 会報

## 第 71 号

平成27年7月31日

発行人  
茨城県スポーツ指導者協議会  
会 長 照 沼 一 美  
事務局 〒306-0204  
古河市下大野1463-4  
事務局長 鈴 木 義 夫  
TEL・FAX 0280-92-4555  
会員数 1,214 名 (H27.7.1 現在)



総 会 (平成 27 年 4 月 26 日(日) 水戸市・内原中央公民館)

公益財団法人 日本体育協会公認  
スポーツ指導者のために

資質向上と  
活動の推進を

連帯感を深め  
組織的活動を

## 目 次

会長あいさつ.....	2
理事長就任あいさつ.....	2
茨城県スポーツ指導者協議会	
功労賞受賞者あいさつ.....	2~3
平成26年度収支決算報告書.....	4
平成27年度収支予算書.....	4
平成27年度本協議会事業計画書.....	5
支部だより.....	6~8

ごあいさつ



茨城県スポーツ指導者協議会会長  
照沼 一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶びを申し上げます。

平成二十七年事業実施に当たり、会員の皆様と共に本協議会が発展されますよう、願いを込めごあいさつ申し上げます。

平成二十七年四月二十六日の総会において、報告事項を承認いただき、決議事項は新年度の事業計画、収支予算等を審議いただき、賛成多数でご承認を賜りました。このことにより、茨城県スポーツ指導者協議会は県内六支部が一体となった運営に向けスタートいたしました。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、県内各支部から発信されます研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますようご期待いたしております。あわせてそれぞれの支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。去る、平成二十五年四月二十五日、公益財団法人日本体育協会等

五団体が中心となり全国的な方向性が整ってまいりました。「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」は平成二十七年度も引き続き継続強化して参ります。

これらの状況のなか、我々公認スポーツ指導者は今後の指導現場において、スポーツの楽しさとスポーツ文化の向上に精進努力したいものです。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、次元の高いより良い指導者として指導方法を研磨され、理想の指導者への道を歩めますようご期待申し上げます。

理事長就任のごあいさつ



中央支部  
小堀 英樹

理事長就任に当り一言ご挨拶申し上げます。

二十七年役員改選に際し、本協議会理事の命を受けましたこと、誠に光栄でありますとともに、私にとつては本協議会に入会し四年余りの経験でこの責任ある役職を続けられるかと言う一抹の不安があります。私を推薦して頂いた中央支部の諸先輩や協議会の役

員の方々にご指導をいただきながら一歩一歩、前進し目の前にある課題を真剣に取組み、誠心誠意務める所存です。

近年、スポーツ指導の現場で指導者による暴力、暴言、セクハラ等の行為が社会問題となっており。私の出身母体である空手道競技はもとより、スポーツ界全体の大きな社会問題と受け止めております。スポーツ指導における暴力根絶へ向けて、本協議会でも真剣に取り組んで行くべきと思っております。子供たちの、心豊かな成長を願いスポーツ少年団の活動において適切に行なえるよう指導者として、自覚ある行動規範が重要です。今回、就任致しました私でお役に立つのであれば、皆様のお力をお借りし努力するつもりでありますのでご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが理事長の就任のご挨拶と致します。

受賞者あいさつ

茨城県スポーツ指導者協議会  
スポーツ指導者功労賞



筑西市  
大竹 幹夫

この度、平成二十七年茨城県スポーツ指導者協議会功労賞を賜り、ご推薦を頂きました関係各位の皆様や、活動を共にして来た方々に心より厚くお礼申し上げます。

昭和五十五年の旧協和町社会人バレーボール連盟会長時に、競技指導をする上での技能・ケガの予防・対処方法・活動推進の為に情報などを求め、数名の役員と共に日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を取得しました。

各集落ごとに家庭婦人バレーボールチーム結成の推進を図り、区長さんにお願ひし、地域全体に広まり盛況な大会を開催することが出来ました。

町体育指導員会と町スポーツ指導者協議会との合同での活動として、バレーボールに限らずに県体育協会や県スポーツ指導者協議会等の指導を受けながら、研修会・

会員入会協力へのおねがい

会員の皆様、有資格者のお仲間、会員入会をお勧めいただける様、ご協力をお願いいたします。

講習会・色々な教室など町内のスポーツ各種団体に呼び掛け、年二回の催しを目標に掲げ実施して参りました。

その間、C級バレーボール判定員・日本綱引連盟公認審判員・公認体力テスト判定員・スポーツ少年団指導員・生涯スポーツ指導員等の資格を取得しました。

各種団体の設立や企画に参画し、スポーツを通して多くの方々とはふれあい、競技の楽しさ、日常生活の中で絆や親睦を深め合う機会が得られ、この四十年間、みなさんのご指導や協力を頂きながら楽しく地域のお手伝いが出来ましたことに感謝申し上げます。

これからも、県スポーツ指導者協議会の役員として、スポーツ振興に微力ながら努めて参りたいと思いますので今後共、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



常陸太田市  
阿部 幸江

この度、平成二十七年度茨城県スポーツ指導者協議会功労賞を賜りまして感謝申し上げます。

御推薦を頂きました県北支部及び関係者の方々に御礼申し上げます。

私は中学の時に初めてバスケットボール競技と出会い、生涯プレイヤーで通すつもりでいましたが、一九九五年頃から指導者の勉強を始めたのがきっかけで、二〇〇四年に日体協指導者資格を取得、県北支部役員となりたくさんの方々と交流を深めております。

現在私は、ミニバス少年団とママさんチームの指導に従事しております。

大人と子供の指導方法は違い、特に青少年の指導は難しく、その競技を理解させ、可能性を引き出し、逃げないで努力する気持を持たせるのが私の指導方針ですが、競技種目は結果を求め暴力に走ってしまうという報道を聞くたびに「良い指導者」のあり方について考えさせられます。

指導歴二十年、まだまだ未熟者です。子供達に元気をもらいつつ、スポーツの楽しさを伝え、生涯スポーツの普及に勉めたいと思っております。

今後共、変わらぬご指導の程よろしく致します。



日立市  
柴田 美知代

平成二十七年度茨城県スポーツ指導者協議会総会におきまして、スポーツ指導者功労賞を頂戴し、大変感激しております。県北支部の一役員として、皆様のご指導を頂きながら活動をしてまいりましたが、この度ご推薦を賜り、この栄に浴することが出来ました。心より感謝申し上げます。

私は趣味として登山を始めてから二十数年になります。登山を始めてから多くの方々との出合があり、楽しく安全に登る為には、より多くの知識が必要と思うようになりました。茨城県山岳連盟の皆様のご指導を仰ぎ、山岳指導員の資格を取得しました。いろいろな講習会にも参加して今でも勉強中です。幸い、いろいろな場所での登山教室のお手伝いの声が、かかるようになり、うれしく思っております。全力を尽くしながら、これからも、皆さんと共に歩んでいきたいと思っております。

環境省自然公園指導員としても、自然保護に努め、多くの方々と安全で楽しい登山をしていこうと思っております。

今後とも皆様のご指導を頂けます

ようよろしくお願い申し上げます。



那珂市  
木村 邦子

この度、茨城県スポーツ指導者協議会より立派な感謝状をいただき光栄に思い感謝致します。

私は硬式テニスを通して生涯スポーツでシニアグループ、または平成二十六年に那珂市総合型ひまわりスポーツクラブに先輩のご協力をいただきキッズテニス教室を立ち上げました。テニス大好きジュニアを育てています。

昨年より錦織圭プロ選手の影響もあってテニスを始めるジュニアが多くなりました。那珂市から団体選手や又、プロを夢見て頑張っているジュニアにおもしろさ、楽しさをつたえられたらいいなあーと思つて頑張つています。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。ありがとうございました。



平成26年度 収支決算報告書 (平成26年 4月1日～平成27年 3月31日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	1,040,000	1,401,000	361,000	6000円×2名・5000円×8名・4000円×336名・3000円×0名・2000円×2名・1000円×1名
2. 助成金	250,000	250,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (26年度)
3. 繰越金	107,767	107,767	0	前年度繰越金 (25年度)
4. 雑収入	2,233	563	△ 1,670	利息・返金
合計	1,400,000	1,759,330	359,330	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会議費	128,000	147,347	19,347	
総務委員会	18,000	31,888	13,888	切手・事務品・飲み物
常任理事会	10,000	4,910	△ 5,090	切手・事務品・飲み物
理事會	30,000	40,549	10,549	切手・事務品・飲み物
総務委員会	5,000	5,000	0	委員会残金 497円
研修委員会	5,000	5,000	0	委員会残金 12,565円
広報委員会	60,000	60,000	0	委員会残金 0円
2. 事務費	410,000	531,306	121,306	
旅費	110,000	172,500	62,500	会議 (監査・総会・常任理事会・理事会)
消耗品費	110,000	115,514	5,514	事務品・コピー紙・インク・トナー他
食料費	5,000	10,271	5,271	監査・事務局
印刷コピー費	25,000	33,046	8,046	封筒印刷
通信費	120,000	160,498	40,498	切手
備品費	40,000	39,477	△ 523	メモリー・ゴム印・量り他
3. 事業費	812,000	854,395	42,395	
会報印刷費	190,000	230,000	40,000	会報 (第69号・第70号)
会報発送費	172,000	178,104	6,104	6支部第69号・第70号送料
研修費	35,000	54,071	19,071	全県・地区研修会用品他
派遣費	25,000	2,220	△ 22,780	関東プロ会議
県北活動費	80,000	80,000	0	支部残金 16,775円
水戸活動費	50,000	50,000	0	支部残金 8,629円
中央活動費	100,000	100,000	0	支部残金 664円
鹿行活動費	70,000	70,000	0	支部残金 651円
県南活動費	50,000	50,000	0	支部残金 30,843円
県西活動費	40,000	40,000	0	支部残金 10,147円
4. 雑費	47,000	50,121	3,121	手数料・賞状・額・祝電他
5. 予備費	3,000	0	△ 3,000	
合計	1,400,000	1,583,169	183,169	

収入合計 1,759,330円  
 支出合計 1,583,169円  
 差引残金 176,161円

※上記のとおりご報告いたします。  
 なお、差引き残金は平成27年度予算に繰越し致します。

平成27年度 収支予算書 (平成27年 4月1日～平成28年 3月31日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会費	1,300,000	1,040,000	260,000	4000円×325名
2. 助成金	200,000	250,000	△ 50,000	公益財団法人茨城県体育協会 (27年度)
3. 繰越金	176,161	107,767	68,394	前年度繰越金 (26年度)
4. 雑収入	839	2,233	△ 1,394	利息・返金
合計	1,677,000	1,400,000	277,000	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会議費	191,000	128,000	63,000	
総務委員会	32,000	18,000	14,000	
常任理事会	11,000	10,000	1,000	
理事會	25,000	30,000	△ 5,000	
総務委員会	20,000	5,000	15,000	委員会残金 497円
研修委員会	28,000	5,000	23,000	委員会残金 12,565円
広報委員会	75,000	60,000	15,000	委員会残金 0円
2. 事務費	556,000	410,000	146,000	
旅費	150,000	110,000	40,000	
役務費	50,000	0	50,000	会長・事務局長
消耗品費	110,000	110,000	0	
食料費	16,000	5,000	11,000	
印刷コピー費	25,000	25,000	0	
通信費	170,000	120,000	50,000	
備品費	35,000	40,000	△ 5,000	
3. 事業費	831,800	812,000	19,800	
会報印刷費	225,000	190,000	35,000	会報 (第71号・第72号)
会報発送費	196,800	172,000	24,800	1200名×会報 (71号・72号)
研修費	40,000	35,000	5,000	
派遣費	20,000	25,000	△ 5,000	
県北活動費	60,000	80,000	△ 20,000	支部残金 16,775円
水戸活動費	60,000	50,000	10,000	支部残金 8,629円
中央活動費	90,000	100,000	△ 10,000	支部残金 664円
鹿行活動費	50,000	70,000	△ 20,000	支部残金 651円
県南活動費	30,000	50,000	△ 20,000	支部残金 30,843円
県西活動費	60,000	40,000	20,000	支部残金 10,147円
4. 雑費	37,000	47,000	△ 10,000	
5. 予備費	61,200	3,000	58,200	
合計	1,677,000	1,400,000	277,000	

収入合計 1,677,000円  
 支出合計 1,677,000円  
 差引残金 0円

※上記のとおりご提案いたします。

## 平成27年度本協議会事業計画書

### 1. 方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携につとめ、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会へ入会の促進に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

### 2. 目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
  - ①本協議会の体制充実を図る。
  - ②支部組織の充実を図る。
  - ③市町村および競技団体との連携・協調に努める。
  - ④有資格者の会員入会に促進を推進する。
- 2) 研修会を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。

### 3. 事業

- 1) 平成27年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
  - ①平成27年度全県研修会（旧・中央研修会）
    - (1)期日 平成27年8月2日(日) 午前7時30分～12時30分
    - (2)会場 水戸市・茨城県農村研修館
    - (3)参加料 会員 1,000円 未会員 1,500円
    - (4)参加定数 先着 150名
    - (5)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・中央支部及び研修委員会
    - (6)運営委員 25名(中央支部役員・研修委員会委員・本部役員)
  - ②平成27年度県西地区研修会
    - (1)期日 平成27年11月15日(日)
    - (2)会場 筑西市・生涯学習センター「ペアーノ」
    - (3)参加料 会員 1,000円 未会員 1,500円
    - (4)参加定数 500名
    - (5)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・県西支部
    - (6)運営委員 15名(県西支部役員)
  - ③平成27年度鹿行地区研修会
    - (1)期日 平成28年2月14日(日)
    - (2)会場 潮来市・潮来市立中央公民館
    - (3)参加料 会員 1,000円 未会員 1,500円
    - (4)参加定数 120名
    - (5)主管 茨城県スポーツ指導者協議会・鹿行支部
    - (6)運営委員 15名(鹿行支部役員)
- 2) 平成27年度会報発行
  - ①会報第71号発行（10ページ）予定
    - (1)発行月日 平成27年7月下旬予定
    - (2)発行先 6支部会員及び新規入会会員
    - (3)発行数 1,400部
  - ②会報第72号発行（12ページ）予定
    - (1)発行月日 平成28年3月中旬予定
    - (2)発行先 6支部会員及び新規入会会員
    - (3)発行数 1,300部
- 3) 平成27年度全国スポーツ指導者連絡会議全体会
  - ①平成27年度第1回関東ブロック会議

- (1)期日 平成27年6月予定
- (2)会場 東京都・岸記念体育会館
- (3)出席者 2名(関東幹事・県体協) 予定
- ②平成27年度第2回関東ブロック会議
  - (1)期日 平成27年12月予定
  - (2)会場 東京都・岸記念体育会館
  - (3)出席者 4名(関東幹事・茨城代表・事務局長・県体協) 予定
- ③平成27年度全国スポーツ指導者連絡会議・幹事会及び全体会
  - (1)期日 平成27年12月予定
  - (2)会場 東京都・岸記念体育会館
  - (3)出席者 3名(関東幹事・茨城代表・県体協) 予定
- ④平成27年度公認スポーツ指導者全国研修会
  - (1)期日 平成27年12月予定
  - (2)会場 東京都・TKP ガーデンシティ品川
  - (3)参加者 若干名
- ⑤平成27年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の受賞者
  - (1)期日 平成27年12月予定
  - (2)会場 東京都・TKP ガーデンシティ品川
  - (3)受賞者 若干名(本協議会推薦)
- 4) 平成27年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の支部推薦者
  - (1)県北支部 梅村恒雄様
  - (2)水戸支部 推薦見送り
  - (3)中央支部 推薦見送り
  - (4)鹿行支部 高野照代様
  - (5)県南支部 櫻井孝之様
  - (6)県西支部 近藤康雄様
- 5) 平成27年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰の受賞者
  - ①期日 平成27年4月26日(日)
  - ②会場 水戸市・内原中央公民館二階視聴覚室
  - ③受賞者 功労賞3名(支部推薦)
    - 阿部幸江様(県北支部)
    - 柴田美知代様(県北支部)
    - 大竹幹子様(県西支部)
 感謝状1名(支部推薦)
    - 木村邦子様(中央支部)
- 6) 平成27年度各種会議等の開催
  - ①総会
    - 期日 平成27年4月26日(日)
    - 会場 水戸市・内原中央公民館二階視聴覚室
  - ②常任理事会 2回計画/年予定(9月中旬・3月中旬)
    - 会場 水戸市・内原中央公民館二階会議室
  - ③理事会 2回計画/年予定(4月上旬・10月中旬)
    - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓会議室
  - ④専門委員会
    - (1)総務委員会 3回計画/年予定(9月中旬・10月中旬・3月中旬)
      - 会場 水戸市・内原中央公民館二階会議室
    - (2)研修委員会 3回計画/年予定(5月下旬・7月中旬・8月下旬)
      - 会場 水戸市・茨城県体育協会二階会議室
    - (3)広報委員会 4回計画/年予定(6月・7月・11月・2月)
      - 会場 水戸市・割烹備前

# 支部だより

## 県南支部

支部長  
櫻井孝之

昨年度は地区研修会に、多数のご参加を頂き有難うございました。又運営に当たりご協力いただいた会員の方々に感謝申し上げます。尚次回県南地区研修会は平成二十八年年度開催の予定です。

平成二十七年年度県南地区会員数は約三六二名程（有資格者数八八七名）です。県南会報は会員の皆様の声をと年二回発行して参りました。中々原稿が集まらず苦心しています。一方的な会報になつてしまい申し訳ありません。今年度は会員の皆様に、広報委員から無作為に指名してお願い致します。何卒ご協力の程お願い致します。

県南支部は市町村数も会員数も多いのですが、横の連携がとり難く苦労しております。私の力不足でもあり新たな人材をと思つてます。二〇一九年茨城国体、二〇二〇年東京オリンピック開催と、国民の健康体力作りなど今後の五年間はスポーツに期待される事や関心も多岐に渡ります。我々スポーツ指導者も選手に寄り添い協働し、お互いスポーツの新たな楽しさを、発見してゆけたらと願っています。

## 水戸支部

支部長  
吉田広光

本年の五月の月は例年にならない暑さが続きました。早いもので支部だよりの時季となり水戸支部は平成二十四年四月、初めて水戸救急普及協会様の派遣をお願いして救命の講習会を開催しました。

本年は丁度三年目になりましたので今回五月十七日、上中妻市民センターにて救急救命の研修を開催致しました。協会様から指導の中で講習会は定期的に受けましようとのこと、そんな役割ができないのではないのでしょうか。スポーツ指導者の仲間同志で素敵な講習会でした。

「皆で守ろう大切な命。」又三年後には水戸支部事業の一つとして今年度は上級救命資格取得は出来ませんでした。次回協会様の指導を受け勉強会を開催したいと考えております。今回は総会研修会と同時開催と云う計画で三十三名様の参加者を頂き初めに八時三十分より総会、九時三十分より救急救命を実施しました。平成二十六年年度の活動報告・決算報告、二十七年年度の活動計画・予算案を承認され支部総会終了後、水戸地区救命指導者四名様の方に四班に分かれ、二十八名の方に、三時間三十分受講受け、初めての方が二〇名、八

名の方が再受講でした。又二十名様の中には競技団体様からの参加者も六名含まれております。

一、人体ボディ、二、心肺蘇生法、三、AEDの使用、四、応急手当の使つての実技でした。

この研修会には水戸市教育委員会、水戸市体育協会、公益財団法人茨城県体育協会様の後援を頂き開催を致しました。又水戸地区普及協会様には大変充実した実技講習の指導を頂き、指導を受けた参加の皆様と共にこの書面にて我れ一同感謝を申し上げます。

二十八年度は茨城県スポーツ指導者研修会、「全県」の開催は水戸支部が主管になっております。

今後共皆様のより多くの会員の方の講習、勉強会等に参加できます様御協力の程切に御願ひ申し上げます。水戸支部の報告とさせていただきます。



水戸支部研修会

## 県西支部

事務局長  
近藤康雄

県西支部、平成二十七年年度支部総会を2年続けて筑西市総合体育館で平成二十七年4月19日(日)午前10時より開催致しました。支部会員145名に対し、出席者14名(当日欠席2名)欠席委任状99名、未連絡30名でした。平成二十六年年度の活動報告、決算報告、平成二十七年年度の活動計画、予算を審議し承認され、平成二十七年から二十八年度の支部役員について報告されました。総会時に二十七年年度県西支部研修会について提案した「ニュースポーツインディアカ講習会」については8月30日(日)、古河市中央運動公園体育館で開催する事になり、総会議事録と研修会開催案内を支部会員全員に送付致しました。6月20日現在、参加連絡者は6名と少なく、申込締切は7月末です。今後の参加をお待ち致します。又、平成二十七年年度、茨城県スポーツ指導者協議会地区研修会を県西支部主管で11月15日(日)、筑西市・生涯学習センター「ペアーノ」で開催する事が決定しました。役員依頼を後日連絡致しますので御協力を願ひ致します。昨年実施しました「普及救命講習会」は来年の総会時に実施する予定です。この会報をご覧になり、御意見・ご要望がありましたら、

〒306-0052

古河市大山1543-13

県西支部 事務局 近藤康雄

◆TEL・FAX

0280-48-1911

まで連絡をお願い致します。

### 中央支部

事務局

野々村 律子

平成二十七年度も半ばを迎え、中央支部といたしましたは、四月四日(土)の支部総会をひたちなか市松戸体育館に於いて開催致しました。前年度の事業報告・決算・監査・今年度の事業計画・予算計画と滞りなく進み、活動が始まりました。

六月六日(土)にひたちなか市西消防署にて、平成二十七年年度救命更新講習会を開催し、七月四日(土)救命資格取得講習会を開催する事が出来ました。支部事業として、救命講習会を持続して、今必要な物を企画している、勉強を続けているという想いは強くしております。

ご主人が倒れた時、ご近所さんが事故にあった時、指導活動中にAEDの使用必要性に関わった話しを耳に致しました。一様に勉強してきてなんとか気強く対応出来たか聞きました。その後、もし自分が、自分の家族がと思った時の

話しになりました。

現在この講習会開催要項その他の欄に数年前より、ご家族、ご近所さん、仲間の皆さんにもお声掛けをして下さい、と明記してあります。

今までも何人かお役に立っている様ですが、支部としてはこれからも続ける事になっております。

今年度の全県研修会が八月二日(日)水戸市にて開催されますが、県協議会と共に中央支部が主管担当となり運営されます。

継続活動するために、又活動の資質向上をはかるためにこの研修会を有意義に生かして貰えればと思っております。

日頃の指導活動を省みた時、自分の技術・指導方法の見直しと諸問題があると思いますが、自己研鑽に励み、生きがいのある日々を送るために、努力を重ねる事をいとわれない力を充電していければ良いのではないのでしょうか。目を、耳をどこにでもアンテナを伸ばして、楽しく活動を続けて行ければと思います。

### 鹿行支部

支部長

島田 昌和

チャレンジデーと聞いて、この事業をご存知の方はいるでしょうか？実は全国130自治体、さら

に世界中で実施されている住民参加型スポーツイベントです。

この事業は5月最終水曜日に開催され、同規模人口の自治体と午前0時～午後9時までの間で15分以上の継続した運動を実施した住民の参加率を競い、敗れた自治体は相手方自治体旗をメインポールに1週間掲揚しなければならぬというユニークなルールが特徴です。

15分以上の継続した運動と聞いて、高いハードルに感じる方もいるかもしれませんが、散歩でも買い物でも参加することができると、体を動かしてもらうことのできかけづくり、運動の習慣化には最適です。現代社会において、働き方やライフスタイルの変化に伴い、運動への関心や運動をする人が減少している中、それぞれが自発的に運動へ取組んでもらうことを積極的にPRしていくチャレンジデーは、自治体にとっても有意義な事業といえます。

また、スポーツイベントといえ、施設規模や設備等に縛られるため、ある程度決まった形のイベントしか開催できませんが、チャレンジデーは「いつでもどこでも・だれでも」を合言葉に「自宅でも・職場でも・アフター5でも」参加できるのが強みです。大規模のイベントは大会準備のみなら

ず、交通の問題や駐車場管理や人の動きに配慮が必要ですが、自発的におこなってもらおうチャレンジデーにはその心配がありません。

しかし良い部分ばかりに触れてきましたが、難しい部分もあります。まずは、その事業名から目的を理解してもらおうのが難しいという点です。自発的に運動に取り組みましょうという目的が浸透し、参加してもらうには大変なPRが必要ですが、また、普段から運動している人がチャレンジデーへ参加していただきたい、運動していただきたいという推進を受けるのは違和感を覚える人もいます。

そういった中で、行方市は本年度で開催6年目を迎え、初めて参加率50%超えを達成しました。これは事務局だけでなく、市長、教育長、スポーツ推進委員など多くの関係者が、例年以上の事業PRに取り組んだ成果と言えます。

チャレンジデー運動する日という形も定着してきた実感があります。今後とも運動のきっかけづくり、習慣化を推進し、「スポーツでわが町を元気に！」していきたいと思っております。

### 行方市のチャレンジデー取組み

行方市教育委員会

スポーツ振興課長 鈴木賢一(記)

県北支部

支部長  
梅村恒雄

前支部長の後任として、早いもので一年が経過しました。この間、茨城県スポーツ指導者協議会、県北地区の皆さまには、何かとお世話になりました。二月の県北地区研修会は、初めての運営体験ではありませんでしたが、県体協、県北支部の運営委員のご協力により無事終了しました。ご協力に感謝を申し上げます。

また、四月二十六日に開催された支部総会は、平成二十六年事業報告、平成二十七年事業計画(案)を提案、審議の結果、満場一致で承認され無事終了しました。

平成二十七年の事業は、会報「あみご」の発行、月一回の役員会の実施、近隣市町村への運営協力を中心に活動を予定しております。

東京オリンピック、茨城国体の開催を賑わしているスポーツの持つ「力」は、地域の活性化、明るく活力に満ちた社会づくりに役立つものであります。高齢化の進む中で、生涯にわたり充実した生活ができるよう、多くの人がスポーツを通してスポーツに親しむ環境づくりも必要であります。

私たちスポーツ指導者は、積極的に各種研修会に参加し、相互の

情報交換を図り、スポーツの持つ力の環境づくりに寄与できるように一致協力して、事業を推進していきますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



県北地区研修会 (平成 27 年 2 月)

ホームページ開設



www.ibaraki-sports.or.jp/



県南地区研修会 (平成 26 年 11 月)



編集後記

第七十一号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報第七十二号発行は平成二十八年三月(予定)

広報委員会

広報委員長

岡野 秀 一

広報副委員長

柏葉 光子(中央支部)

広報委員

佐藤 マツ(県北支部)

舛井 幸子(水戸支部)

君和田治也(鹿行支部)

櫻井 孝之(県南支部)

石塚 君子(県西支部)